

2022 年度 小委員会活動成果報告

(2023 年 2 月 9 日作成)

小委員会名	高齢者・障がい者等居住小委員会	主 査 名：西野 亜希子 就任年月：2022 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (住宅計画運営委員会)	委員長名：清家 剛 主 査 名：清水 郁郎
設 置 期 間	2022 年 4 月 ～ 2024 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>2020 年度からは、これまで収集してきたグッドプラクティスの現地調査の成果を継承し、高齢者・障がい者等が住み慣れた地域で住み続けられるための住まいの要件を整理し、これまでの小委員会の活動成果を中心として書籍の出版を目指し、企画書の作成を行ってきた。2022 年度以降も引き続き、この企画を基に出版に向けた活動を領域横断的な委員で実施することを目的とする。</p> <p>初年度：出版に向けた活動・グッドプラクティスの現地調査 2 年度：出版に向けた活動・出版した書籍を基にした公開研究会</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	<p>主査：西野亜希子 (コ・ラボ) 幹事：橋本美芽 (東京都立大学)、岡部真智子 (福山平成大学) 委員：大島千帆 (埼玉県立大学)、金晃敏 (国立研究開発法人国立環境研究所)、佐藤由美 (奈良県立大学)、鈴木健太郎 (杏林大学)、曾根里子 (文化学園大学)、田中紀之 (大和ハウス工業)、野口祐子 (日本工業大学)、橋本彼路子 (長崎総合科学大学)、阪東美智子 (国立保健医療科学院)、松田雄二 (東京大学)、三浦貴大 (産業技術総合研究所)、室崎千重 (奈良女子大学)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>書籍出版に伴い、執筆活動を目的とし、高齢者と障がい者の居住に関する先駆的研究に取り組んでいる委員で、以下のワーキンググループを 2022 年 12 月 1 日に計 2 つ立ち上げ、活動の活発化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の居住検討 WG ・障がい者の居住検討 WG 	
2022 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	14 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	

<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 出版に向けた活動について： 出版社が決まり、来年度（2023年11月）の出版に向け、計画通り出版活動として執筆活動を行っている。これに伴う委員会を開催した。 2. グッドプラクティスの現地調査について： 小委員会として現地調査は行っていないが、執筆活動の一環として執筆者が個別に現地調査を行っているケースもある。 3. WGの立ち上げについて： 当初計画にはなかったが、執筆活動の活発化を目的とし、新たに2つのWGを立ち上げることができた。 4. 助成金の申請について： 当初計画にはなかったが、出版に向け、小委員会のメンバーで、出版助成申請をするなど、積極的に活動をしている。
<p>委員会活動の問題点 ・課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 問題点としては、小委員会の設置目的として、書籍出版を位置付けたが、複数の出版社に作成した企画を持ち込んだ経緯があるため、出版社が決まるまで、小委員会の活動を活発にすることができなかったこと。 2. 課題としては、出版活動が軌道に乗せるまでに時間を要したことやコロナの影響もあり、現地調査等の活動が縮小傾向であったこと。そのため、次年度には、見学会を開催するようにしたい。